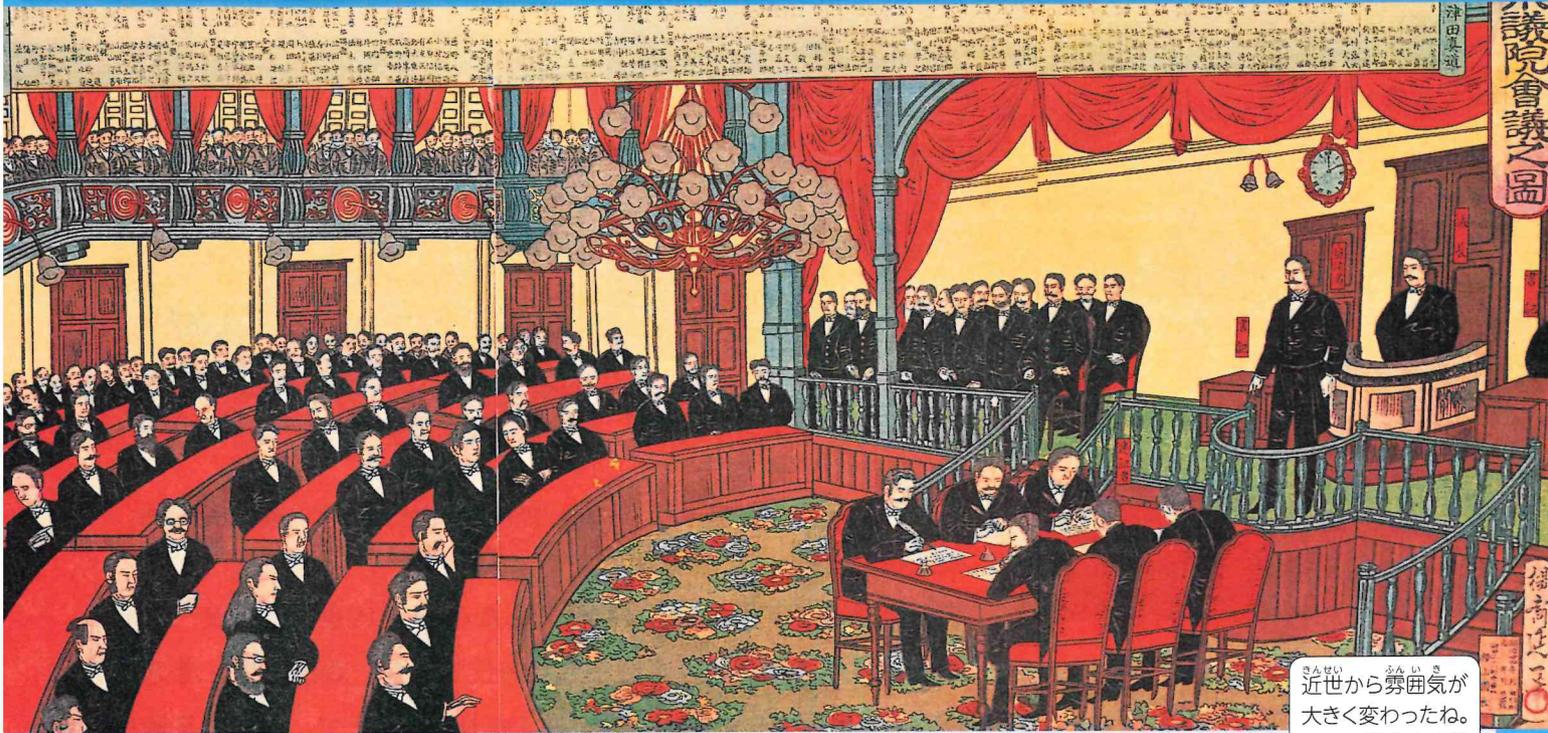




ワークシートなど

5章の問い

近代国家の建設を目指すことによって、社会はどのように変化したのだろうか。



↑1 帝国衆議院會議之圖 [東京都衆議院憲政記念館蔵]

近世から雰囲気が大きく変わったね。ここは何をする場所なのかな。

●小学校で学んだ人物と主な出来事

江戸時代		明治時代	
1837 大塩平八郎の乱が起こる →2 大塩平八郎	1853 ペリーが日本に来航する →3 ペリー	1867 徳川慶喜が政権を朝廷に返す →4 明治天皇	1868 江戸を東京とする 1889 大日本帝国憲法が公布される 1894 日清戦争が起こる →5 渋沢栄一



●「学習する時代の見通し」をもとう

対話

これから学習する時代について、どのような時代なのか、ほかの人と話し合ってみよう。

その際、小学校で学習した人物や主な出来事、前の章で学習した時代の特徴を踏まえよう。

★この時代では、前の章で学習した時代からどのように社会が変化するか、予想を書こう。

この章で学習する節の問い

<p>1 節 p.162~175</p> <p>欧米諸国における近代化 欧米諸国から始まった近代化とは、どのような変化なのだろうか。</p>	<p>4 節 p.194~203</p> <p>近代国家への歩み 日本の近代国家建設は、どのような成果と課題を生んだのだろうか。</p>
<p>2 節 p.176~183</p> <p>開国と幕府の終わり 欧米諸国が来航するなかで、日本の社会はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>5 節 p.206~213</p> <p>帝国主義と日本 なぜ日本は不平等条約を改正することができたのだろうか。</p>
<p>3 節 p.186~191</p> <p>明治政府による近代化の始まり 明治政府は、どのように国づくりを進めたのだろうか。</p>	<p>6 節 p.214~223</p> <p>アジアの強国の光と影 なぜ、近代化によって人々の生活が大きく変化したのだろうか。</p>



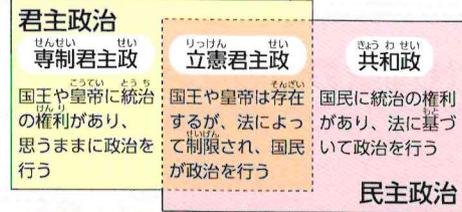
1節の問い 欧米諸国から始まった近代化とは、どのような変化なのだろうか。



↑1 イギリスの議会(18世紀後半)

議会の様子について、今と昔で共通点と異なる点はあるかな。

解説① 近代の政治体制



↑2 現在のイギリス議会(2022年)

1 市民革命の始まり

解説② 市民革命

支配される側にいた市民とよばれる人々が、王など支配する側の人々を倒して、社会を急激に変える動きのことをいいます。市民革命では、古い身分制を改め、自由で平等な社会の実現が目指されました。

① イギリス議会政治の源流になるのは、13世紀初め、国王により承認された「大憲章」です。これにより国王による課税に対して議会の同意を必要とする原則が生まれました。その後、13世紀末には、聖職者・貴族・州と都市の代表からなる議会ができました。権利の章典は、このような13世紀以来の議会の伝統的な権利を主張しています。

権利の章典(1689年)

1. 国王は、議会の承認なく法律を停止することはできない。
9. 議会における言論の自由は、守られなくてはならない。
13. 議会はしばしば開かれなくてはならない。
【一部要約・抜粋】

小地公



学習課題

イギリスの革命や、アメリカの独立戦争によって、政治のあり方はどのように変化したのだろうか。

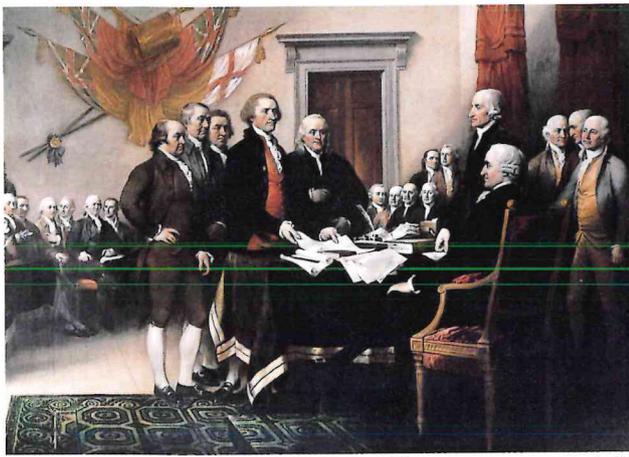
変わる 欧米諸国

日本の江戸時代にあたる17~19世紀は、ヨーロッパが大きく変化した時代でした。政治では、身分制

が廃止されたり、専制君主政を抑えたりすることで、自由で平等な「市民」が、法の支配に基づいて政治を行う「市民社会」に変わり始めました。それにより、これまで国王と支配身分だけが政治を進めてきたのに対し、市民たちがそれらを倒すことで、政治を動かす主権者となり、議会を通じて国家を運営することもありました(市民革命)。産業では、工業が発達して資本主義社会が生まれました。こうした政治や産業の動きを併せて、「近代化」とよびます。

イギリスの 議会政治

イギリスでは、17世紀に入ると、地主や商工業者らが力をもつようになり、議会に進出しました。彼らの多くは、カルバンの教えを信じるプロテスタントのピューリタン(清教徒)でした。しかし国王は、議会を無視して重い税を課し、さらにピューリタンの弾圧を行いました。議会は、思いのままに政治を行う国王との対立を強めていき、ついに、クロムウエルの指導により、国王の軍を破って国王を処刑し、王政を廃止して共和政を実現しました。これをピューリタン革命とよびます。

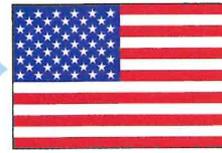


↑ **3** アメリカ独立宣言の採択 ここに描かれた独立戦争の指導者たちは、市民として宣言を起草しました。

独立当時



現在



← **4** 星条旗 独立当
時の国旗の星の数は、州数の13でした。州の増加に伴い、星の数も増えました。

アメリカ独立宣言(1776年)

われわれは以下の真理は自明のことと考える。まず、すべての人間は平等につくられており、神より奪いがたい諸権利を与えられている。それらのなかには生命、自由、幸福追求の権利がある。

また、これらの権利を保障するために、人間の間に政府が組織されるのであり、その正当な権力は人々の同意に由来するものである。

【一部要約】

資料活用 「アメリカ独立宣言」を読み、どのようなことを伝えようとしているのか、あなたの言葉で説明しよう。 **小地公**

クロムウェルは、議会を解散し独裁政治を行ったため、彼の死後、王政と議会が復活しました。しかし、この王政も議会と対立したことから、1688年、議会はそれまでの国王を追放し、議会を尊重する新しい国王を迎えました。この革命は戦乱なく成功したので、**名誉革命**とよばれます。そして議会は**権利の章典**を制定し、国王は議会の承認がなければ法律の停止や新しい課税ができないことなどを定め、イギリスの**立憲君主政**と議会政治が確立しました。

アメリカの独立戦争

18世紀に入り、オランダに代わって台頭してきたイギリスは、武器や綿織物などをアフリカに輸出

して奴隷と交換し、さらに奴隷を西インド諸島やアメリカ大陸の大農園へ砂糖やたばこを生産する労働力として転売して、大きな利益を上げました。しかし一方で、植民地をめぐるフランスとの激しい戦争でばく大な費用を使い、イギリスは財政難に苦しみました。

北アメリカの東海岸では、18世紀半ばまでにイギリスからの移住者が13の植民地をつくって自治を行っていました。18世紀後半、植民地側の代表がないイギリス議会で、フランスとの戦争費用を賄う新しい税を課すことが決められると、植民地の人々はこれに反発して**アメリカ独立戦争**を起し、1776年には**独立宣言**を発表しました。ワシントンを総司令官とする植民地軍は、フランスなどのヨーロッパ諸国の支援を得て独立戦争に勝利しました。この結果、アメリカ合衆国が誕生し、選挙に基づく共和政と三権分立を定めた合衆国憲法がつくられました。

ワシントン

1732~99

アメリカ建国の父



植民地の大家園主で、アメリカ独立戦争では総司令官として活躍しました。また、憲法を制定するための会議では議長に選ばれ、人々の信頼を得て、アメリカ合衆国の初代大統領となりました。現在でも、アメリカ建国の父として人々から尊敬を受けており、アメリカの1ドル紙幣にも肖像が描かれています。



確認しよう

「市民革命」についての説明を、本文から書き出そう。



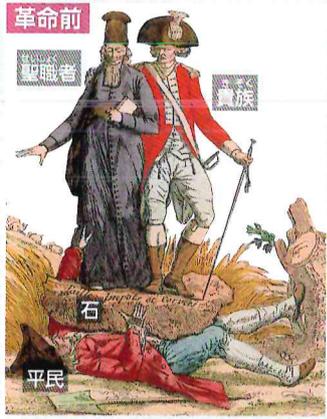
説明しよう

市民革命によって、どのような政治や社会のしくみが成立したのか、説明しよう。

3C	縄文
AD.1	弥生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土桃山
18	江戸
19	
20	明治
21	大正
	昭和
	平成
	令和



↑1 テニスコートの誓い 平民身分の代表者たちはベルサイユ宮殿の室内テニスコートに集まり、憲法が制定され、それが確実なものになるまで、議会を解散しないことを誓い合いました。



↑2 フランス革命前の税の負担を表した風刺画(左)と3 フランス革命後の税の負担を表した風刺画(右) 小地公

資料活用 2と3の二つの風刺画を比べ、何が変化しているか考えよう。

どうしてフランスの人々は革命を起こしたのかな。



2 人権思想からフランス革命へ

1節の問い 欧米諸国から始まった近代化とは、どのような変化なのだろうか。

→4 ルイ14世(1638～1715) 国王を中心とした宮廷の生活を確立しました。王宮のベルサイユ宮殿では、貴族などを集めた華やかな舞踏会が行われました。



↑5 ベルサイユ宮殿の鏡の間

フランス革命によって、政治や社会はどのように変化したのだろうか。

人権思想の広がり

フランスでは、17世紀後半のルイ14世の時代に、国王の権力が最も強くなり、周辺の国々とたびたび戦争を行いました。華やかな宮廷生活とたび重なる戦争は国の財政を圧迫し、商工業者や農民は重い税に苦しめられました。そのため、18世紀に入ると、王政の下での制度や考え方を批判し、すべての人が生まれながらにもつ自由・平等などの**基本的人権**を尊重した公正な社会をつくろうとする啓蒙思想が盛んになりました。フランスのモンテスキューは、イギリスのロックが唱えた**社会契約説**の考え方に学び、イギリスの議会政治を模範として、**三権分立**の考えを示しました。この三権分立の考え方は、アメリカ独立戦争によって誕生した**合衆国憲法**に取り入れられました。また、ルソーは**人民主権**を主張して、人々に大きな影響を与えました。

フランス革命

18世紀のフランス社会は、**聖職者・貴族・平民**の三つの身分で構成されていました。そのなかで人口の9割以上を占めた平民は、**納税の義務を免除される特権**を与えられた**聖職者・貴族**を支えるために重い税に苦しんでいました。啓蒙思想の影響を受けて、1789年、国王や大貴族中心の政治に対する**不満**が爆発し、商工業者や一部の貴族のほか、農民や都市の民

解説① 社会契約説

小地公

ロックは、社会は基本的人権をもつ個人どうしの契約で成り立ち、政府もその個人との契約の下につくられるべきと説きました。→6 ロック(1632~1704) 主な著作は『統治二論』です。



解説② 三権分立

小地公

モンテスキューは、権力の集中による専制を防ぐため、立法・司法・行政の三つの権力を分立させるべきと説きました。

→7 モンテスキュー(1689~1755) 主な著作は『法の精神』です。



解説③ 人民主権

小地公

ルソーは、一般の人々(人民)が主権者として、社会全体の利益を目指す政治を担うべきと説きました。→8 ルソー(1712~78) 主な著作は『社会契約論』です。



←9 人権宣言 この宣言で記された権利は、現在でも重要な考え方として、日本や各国の憲法などに引き継がれています。小地公

解説④ 民主主義

すべての人が意思や考えをもち寄って主体的に政治に参加し、自分たちの力で社会をつくっていくとする政治の形態のことをいいます。

人権宣言(1789年)

- 人間は、生まれながらにして自由かつ平等な権利をもっている。
- すべて主権は、本来人民(国民)にある。
- 自由とは、他人に害を与えない限り、何ごとも行いうるということである。
- 思想と言論の自由は、人間の最も貴重な権利の一つである。

[一部要約・抜粋]

資料活用 p.163の「アメリカ独立宣言」と比べて、共通している内容は何か、考えよう。

衆も加わって、フランス革命が起きました。革命を支持する人々は、基本的人権の尊重と人民主権の考えに基づく人権宣言を発表しました。この革命で王政が廃止され、フランスに共和政が生まれました。フランス革命は、市民革命の代表例とされ、ヨーロッパが民主主義に基づく市民社会に変わっていく転換点となりました。

ナポレオンの登場

王政を否定する革命が広がることをおそれたほかのヨーロッパ諸国は、フランスを攻撃しました。

軍人のナポレオンは、徴兵制に基づいて大量の兵力を動員することでこれを撃退して政権を握ると、市民の自由・平等や所有権などの人権を保障した法律を定めました。フランス革命の成果を守ったナポレオンは、1804年に国民投票によって皇帝となりました。

フランス革命により、それ以前は法も習慣も異なった地域に中央の議会が定めた法律が及ぶようになり、その法律に従って人々が生活を変えていくようになりました。また、ナポレオンが武力でヨーロッパ諸国を征服するなかで、各地に自由・平等の考えが広まりましたが、それは同時に、フランスの支配に抵抗する運動を引き起こし、人々の民族意識を高めることにもなりました。イギリスでの革命に始まり、アメリカ独立からフランス革命に受け継がれた自由・平等の考えや、政治は対等な市民の参加と議論により成り立つという考え方は、明治時代以後の日本にも大きな影響を与えました。

p.186

ナポレオン

1769~1821

数々の名言を残した英雄



名前も知られていない軍人の一人でしたが、従軍した数多くの戦争で成功を取めたことから、英雄としてフランスの人々の人気を得ました。そのなかで、ナポレオンは数々の名言を残し、その人となり今に伝えていきます。皇帝の位に登りつめたものの、その後の戦争では敗北が続き皇帝を退くと、フランス国外へ追放されました。



確認しよう

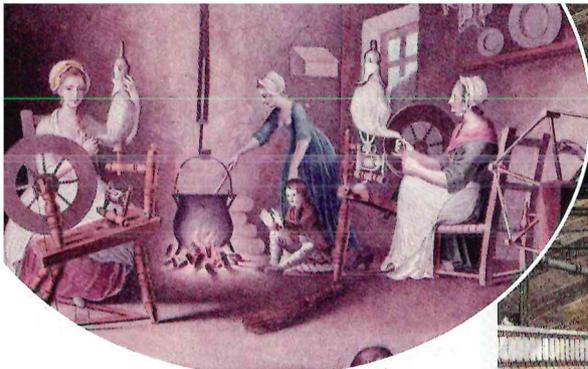
フランス人権宣言で主張されたことを、本文や資料から書き出そう。



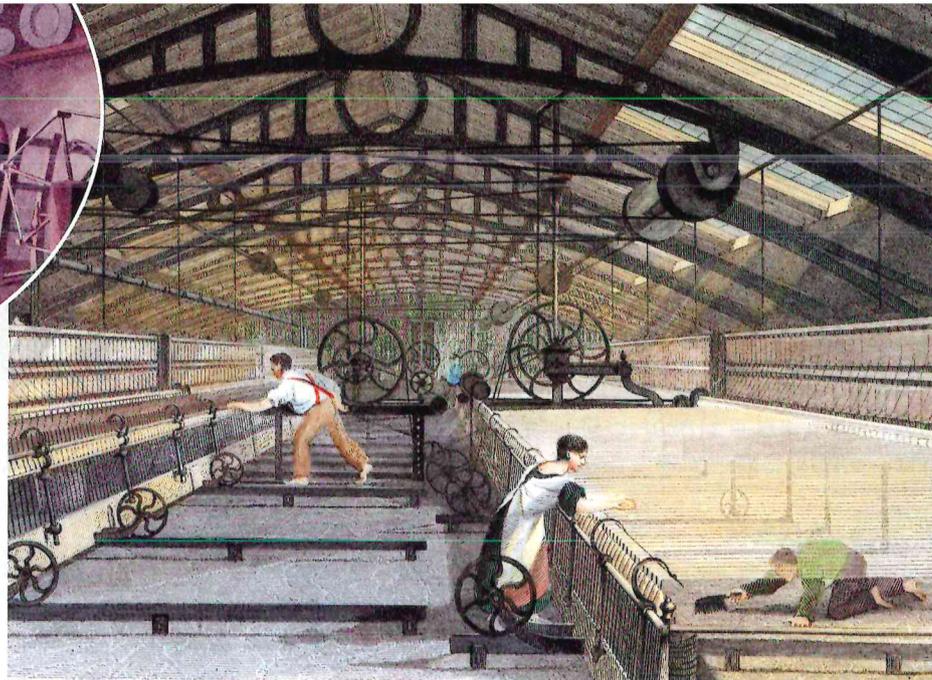
説明しよう

フランス革命はその後のヨーロッパ社会にどのような影響を与えたのか、説明しよう。

縄文
BC
A.D. 1
弥生
2
3
4
古墳
5
6
飛鳥
7
8
奈良
9
10
平安
11
12
鎌倉
13
14
南北朝
室町
15
戦国
16
17
安土桃山
江戸
18
19
明治
大正
20
昭和
平成
21
令和



↑1 伝統的な糸つむぎ 1 鍾
(糸を棒状に巻いたもの) ずつ
手作業で糸をつむぎました。



↑2 紡績機による糸つむぎ 蒸気機関で機械を動かすことで、1830年代には一人が一度に
1200鍾を受けもつまでになりました。



糸つむぎのやり方は、
どのように変化
したのかな。

3

産業革命と 資本主義の成立

1 節の問い 欧米諸国から始まった近代化とは、
どのような変化なのだろうか。



学習課題

産業革命によって、社会はどのように変化したのだろうか。

イギリスの 産業革命

イギリスでは、17世紀に東インド会社を通じて
輸入されたインド産の薄くて軽い綿織物が人気を集
めました。この人気に応じて、18世紀に国内でも綿織物工業がお
こり、綿織物をより早く、安く、大量につくるために、糸をつむぐ
紡績機や布を織る織機が次々に発明されました。18世紀の終わり
には、蒸気機関がそれらの機械の動力として使われるようになり、
工場での綿織物の生産力は一層増大しました。さらに、製鉄業、造
船業、機械工業などの重工業も発達するようになり、原料となる
鉄・石炭や工業製品を、定期的に大量に各地へ運ぶことが必要にな
りました。そのため、道路や運河の整備が進むとともに、蒸気機関
を利用した蒸気船や鉄道もつくられ、人と物の動きが活発になり、新
しい都市の発達が促されました。こうしてイギリスは、工業中心の
社会へ大きく変化していきました。この変化を産業革命といひます。

資本主義の 成立

産業革命の進展に伴い、工場や機械をもつ資本家
が、労働者を雇って利益を目指して生産活動をする
資本主義が成立しました。

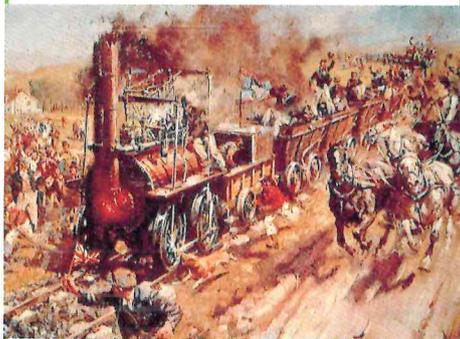
18世紀後半以降、イギリスの人口は急速に増加し始めましたが、

未来に
向けて

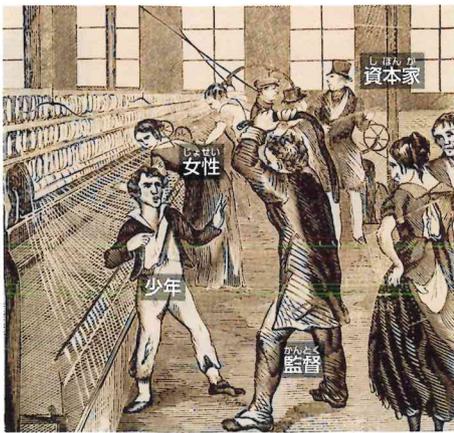
工業の発達と 地球温暖化

環境・
エネルギー

産業革命以来、石炭などを燃やして生
産や生活に必要なエネルギーを得ること
が日常的になりました。蒸気機関の誕生
は、そのきっかけといえます。その結果、
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス
が大気中に増えるようになり、それが現
在の地球温暖化の原因となっています。



↑3 世界初の蒸気機関車による鉄道



←4 むちで打たれる児童労働者 紡績機の下で綿くずを掃除する作業などに子どもが使われましたが、低賃金で劣悪な環境でした。児童労働は働く環境の問題だけでなく、子どもが家族や教育から引き離されるという問題がありました。

未来に向けて 工業の発達と生活環境の悪化 環境・エネルギー

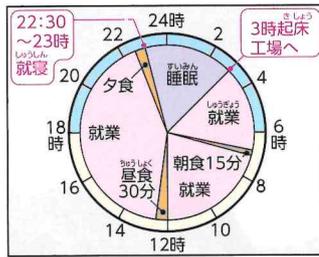
工業が発達するに伴い、都市には多くの労働者が集まりましたが、彼らの賃金は安いままで、路地裏などにある狭い住居での共同生活を強いられました。また、工場も次々と建設され、ばい煙による大気汚染がひどくなりました。河川には生活排水と工場排水が大量に流されたため、河川の水を飲料水としていた人々の間にコレラなどの伝染病が広がりました。こうしたなか、公衆衛生という考え方が芽生えるようになり、しだいに生活環境を改善する取り組みが行われるようになりました。



→6 イギリス北部の大気汚染の様子

→5 児童労働者の一日 休憩時間は、朝食の15分、昼食の30分、飲み物をとるための15分のみでした。5分の遅刻をすると、賃金を4分の1減らされました。

資料活用 児童労働者は一日何時間働いていたことになるだろうか。



その食料は、大地主が農地を買いこんで穀物の生産や畜産を大規模に行うことで支えていました。土地を失った農民は、大地主の下で農業労働者になったり、都市へ出て工場労働者になったりしました。機械による大量生産が定着したことで、職を失った多くの手工業者も、工場の労働者になりました。こうしてイギリスでは、社会全体の人口の増加と、農村から都市への人口移動によって、資本主義を支える豊富な労働力が生み出されました。

労働運動と社会主義

資本家は、少しでも多くの利益を上げるため、労働者を安い賃金で雇い、長時間働かせました。改良された機械は、熟練した技術をもたない者でも操作できたことから、女性や子どもも雇われました。また、都市では工場が建てられ、人口も集中した結果、生活環境が悪化しました。こうしたなか、労働者たちは、自分たちの生活と権利を守るために労働組合をつくって

団結し、さらに、労働者を中心に平等な社会を目指そうとする社会主義の考えが、マルクスらによって唱えられました。

工業の発達によって資本家と労働者が増えると、彼らは政治への参加を求め始め、イギリスでは選挙法の改正により選挙権が拡大されていきました。一方、フランスでも選挙法改正の要求が高まり、1848年に社会主義者も参加した政権が一時的に生まれました。

① 近年、歴史研究者の間では、農業社会から工業社会へ段階を追ってしだいに進むという意味を強調して、産業革命に代わって「工業化」という用語も使われています。

マルクス

1818~83

資本主義の問題を追及した人



19世紀半ば、ドイツのマルクスは、労働者の貧困の原因は資本家が工場や土地を私有しているためであり、貧困をなくすためには、資本家や地主がいない社会をつくり、工場や土地を共有すべきだ、という社会主義を説きました。彼は、労働者のために生涯をささげ、彼の思想は世界中に影響を与えました。

✓ 産業革命の成果を本文から書き出そう。

🗨️ 資本主義の成立によって発生した問題を説明しよう。

織文
1 弥生
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平
11 安
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土桃山
18 江戸
19 明治
20 大正
21 昭和
平成
令和



都市の様子からつながりを考えよう

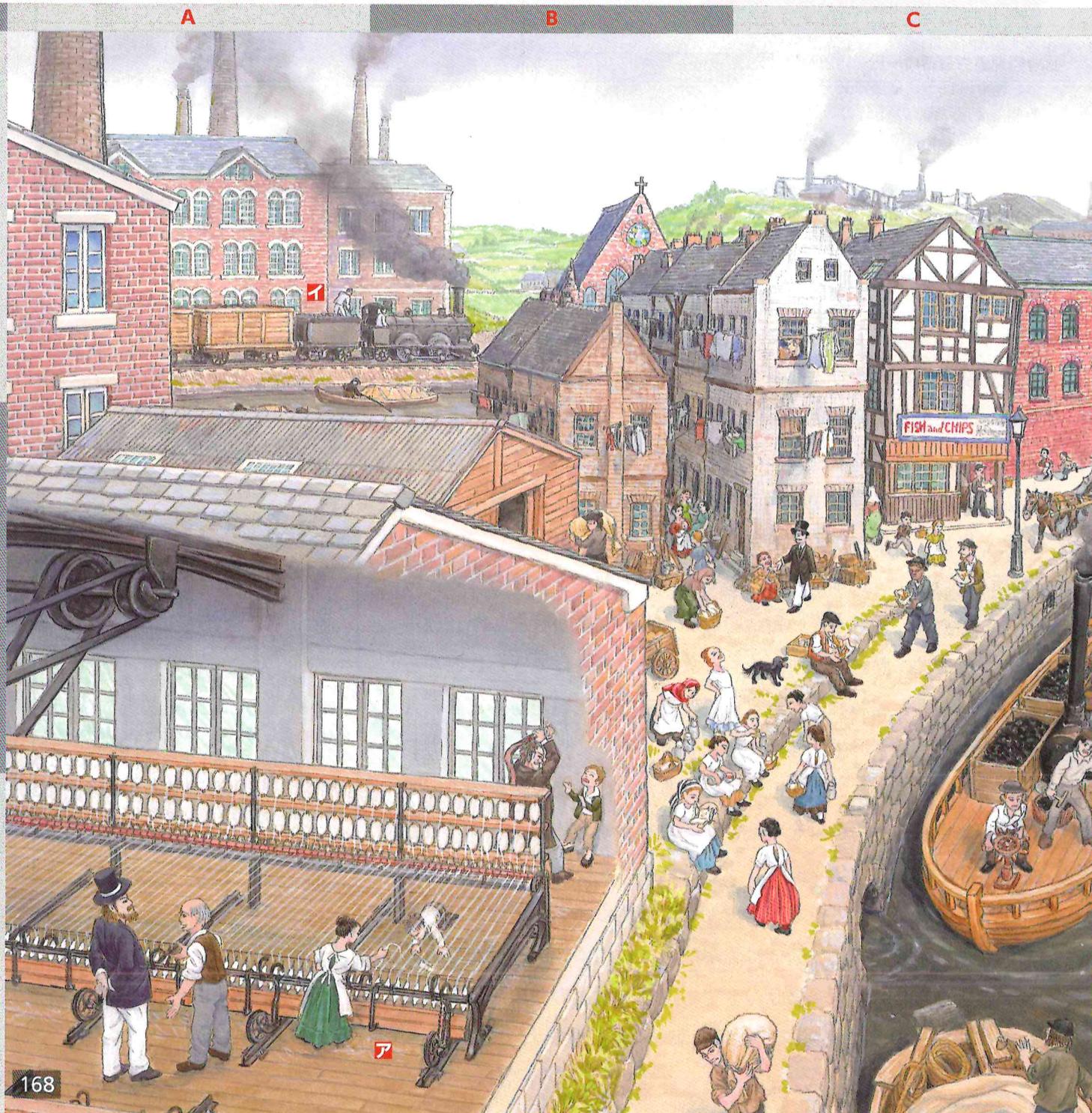
私たちは、19世紀後半のイギリスの工業が盛んな都市にきています。このころの日本は明治維新の直後で、欧米を見習った国づくりを進めていました。また、この時代のヨーロッパの生活が、今の私たちの生活に大きな影響を与えています。

主な関連事項と関連ページ

イギリスの議会政治…p.162～163

産業革命…p.166～167

明治時代の生活文化…p.220～223



? 次の場面を探してみよう!

次の場面は、ア～ウのどれに当たるか、()
に記号を入れてみよう。

- ① 工場で子どもや女性が働いています。 ()
ヒント ☞ →p.167
- ② 議会で議員たちが話し合っています。 ()
ヒント ☞ →p.162
- ③ 蒸気機関車が貨物を運んでいます。 ()
ヒント ☞ →p.166

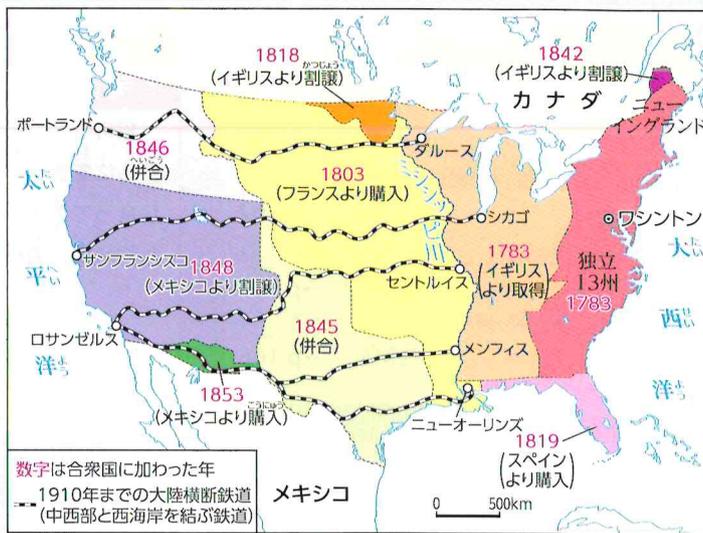
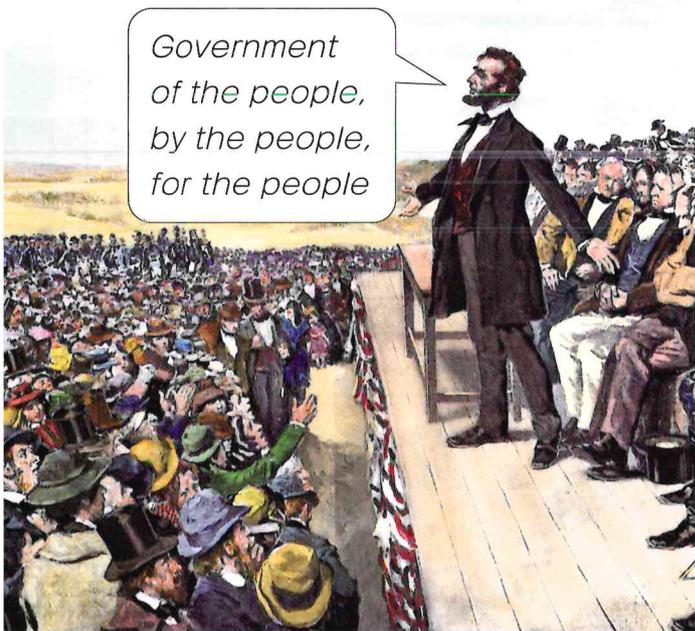
! 見方・考え方 **相互の関連** を考えよう **対話**

絵のなかから、今の私たちの身の回りと同じもの、今の私たちの生活や暮らしに影響を与えたと思うものは何か、見つけたものを周りの人と話し合ってみましょう。その際、見つけるにあたって参考になった教科書の資料や本文の記述も、その根拠として示しましょう。

川の水が黒いけれど、このころの環境は、どのような状態だったのかな。



Government of the people, by the people, for the people



↑2 アメリカ合衆国の領土の拡大 領土の拡大とともに、東部と西部とを結ぶ鉄道が、次々と建設されました。

地図帳活用

リンカンは、この言葉を通して、何を伝えたかったのかな。



↑1 アメリカ大統領リンカン(1809~65)の演説 南北戦争中の1863年、リンカンは、集まった人々に対し、「人民の、人民による、人民のための政治」を説く演説を行いました。 **小地公**

4

欧米諸国の近代国家建設

1節の問い 欧米諸国から始まった近代化とは、どのような変化なのだろうか。



学習課題

アメリカ・ドイツ・ロシアは、どのように近代国家の建設を進めたのだろうか。

近代国家と「国民」の創出

19世紀に入ると、産業革命やフランス革命の影響を受けて、ヨーロッパや北アメリカの国々

では、自由・平等の考え方のもと人々を「国民」として一つにまとめる近代国家の建設が進められました。近代国家では、徴兵制を通じて「国民軍」がつけられ、学校や職場を通じて「国民」にふさわしい共通の言語や生活のしかたが広められました。その一方で、人種・民族・宗教・文化などを背景に、「国民」から除外される人々もいました。

アメリカの南北戦争

独立後のアメリカ合衆国は、19世紀半ばに太平洋に面する西海岸にまで領土を広げました。そのころ、綿工業を中心に商工業が成長し始めたため、保護貿易を望む北部と、黒人奴隷によるイギリス向けの安価な綿花栽培が盛んなため、自由貿易を望む南部の対立が激しくなりました。そして、西部に新しい州が生まれると、奴隷制を認めるかどうかでも、北部と南部は争うようになりました。

このような対立から、1861年から約4年にわたる激しい内戦(南北戦争)が始まりました。リンカン大統領は、奴隷解放宣言を出し、合衆国の統一と奴隷の解放という目的の下で戦い、北部を勝利に導

未来に向けて

先住民の「涙の旅路」

人権・多文化

1830年のインディアン強制移住法により、先住民(ネイティブアメリカン)は、西部への立ちのきを強いられました。移動中、彼らの多くが病気や疲労のため命を落としたことから、その道筋は、「涙の旅路」といわれました。世界各地でも、開発や近代化の名の下、先住民が土地や言語、宗教などを奪われることが多くありました(→p.197)。

↓3 「涙の旅路」



未来に向けて **どれいせい こくはつ 奴隷制を告発した** **人権・多文化**
『アンクル=トムの小屋』

奴隷制をめぐる北部と南部の論争が激しかった1852年に、ニューイングランド出身のストウは、『アンクル=トムの小屋』を出版しました。小説のなかで、主人公の黒人奴隷トムは、南部奴隷主の残忍な仕打ちに耐えながら「魂は買いとられていない」と叫びます。この小説は、発売後9か月で30万部が売れる大ベストセラーとなりました。ストウが訴えた奴隷制の非道と人間の尊厳は、北部の多くの人々の心を動かしたのです。



→4『アンクル=トムの小屋』を書いたストウ(1811~96)



↑5ドイツの統一 ドイツの統一に反対するフランスとの戦争に勝利すると、ベルサイユ宮殿の鏡の間(→p.164)で、ドイツ帝国の成立が宣言され、ヴィルヘルム1世が初代のドイツ皇帝につきました。

きました。アメリカは、その後、西部へと鉄道網を広げ、機械や鉄鋼などの重工業がめざましく発展していきました。急速に進む工業化を労働力として支えたのは、ヨーロッパやアジアからの大量の移民でした。また、黒人は、奴隷の身分から解放されたとはいえ、南北戦争後も貧困や人種差別に長く苦しむことになりました。

ドイツ帝国の成立 ヨーロッパでは、小国に分かれていたドイツにおいて、プロイセン王国が首相のビスマルクの下で軍事力と経済力の強化を進めて諸国を統一し、1871年にドイツ帝国が誕生しました。そして、新たな憲法と、男子普通選挙に基づく帝国議会が整えられました。しかし議会は、国家の重要な政策の決定権をもたず、立憲君主政の下でビスマルクが帝国宰相に就き、政治の実権を握りました。ドイツ帝国は、重工業部門を中心に工業化を推し進め、世界進出を目指しました。

ロシアの拡大と近代化 ロシアは、皇帝による専制政治の下で、19世紀半ばから、黒海から地中海への出口を求めて、南下政策を進めました。しかし、イギリスやフランスなどの西欧諸国の力によって妨げられ、南下は失敗に終わりました。西欧諸国に対して近代化の遅れを実感したロシアは、19世紀後半には旧来の制度の改革に乗り出し、工業化を進め、シベリアや中央アジアへの進出にも力を注ぎました。しかし、依然として憲法や議会はなく、農民や労働者の生活苦が続くなかで、しだいに社会主義運動が高まっていきました。

解説 保護貿易と自由貿易
 保護貿易とは、国家が、外国との商品の輸出・輸入を行う際、関税をかけるなどの制限や保護を加える貿易です。これにより、国内の産業を外国との競争から守る効果があります。一方、自由貿易とは、国家による制限や保護を加えない貿易です。制限がないため、貿易量が拡大する効果があります。

ビスマルク
 1815~98
 明治の日本の手本となった宰相



ビスマルクは、ドイツ皇帝の権力が強い憲法をつくる一方、工業化による急速な経済発展を実現しました。伊藤博文(→p.202)は岩倉使節団(→p.194)の一員としてビスマルクに会い、その政策に感心し、ドイツを模範に、立憲君主政や富国強兵(→p.188)などを進め、独立を守る国づくりを目指しました。

確認しよう 「近代国家」についての説明を、本文から書き出そう。

説明しよう アメリカやドイツやロシアが近代国家を建設するなかで、どのような課題が残されたか、説明しよう。

1	誕生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・松山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和

19世紀ごろの世界

やってみよう

1. 地図のなかから、下に挙げたA～Dを探してみよう。

A. アメリカ大統領のリンカンの演説

ヒント→p.170

B. ドイツの統一

ヒント→p.171

C. ならみあうイギリス兵とフランス兵

ヒント→p.205

D. 南下を狙うロシア兵

ヒント→p.206

2. CとDの兵士たちはそれぞれ、どの土地を狙っているのか考えてみよう。

見方・考え方

地図のなかから、ペリーを探し出し、どのように日本にやって来たか、その経路をたどってみよう。

ヒント→ペリーと黒船



このころの世界と日本にはどのようなつながりがあったのかな。



地図をよく見るためのキーワード

- ・アメリカ南北戦争→p.170
- ・ドイツの統一→p.171
- ・ロシアの南下→p.171
- ・インド大反乱→p.174
- ・アヘン戦争→p.176
- ・高杉晋作→p.177
- ・ペリーの来航→p.180
- ・アフリカの分割→p.205

■ イギリス領
● イギリス領拠点都市・島
■ フランス領
■ スペイン領
■ ポルトガル領
■ オランダ領
■ ロシア領
→ イギリスの拡大
→ ロシアの拡大
→ ペリーの航路

↑ 1 欧米諸国の世界進出(19世紀) 世界とのつながり

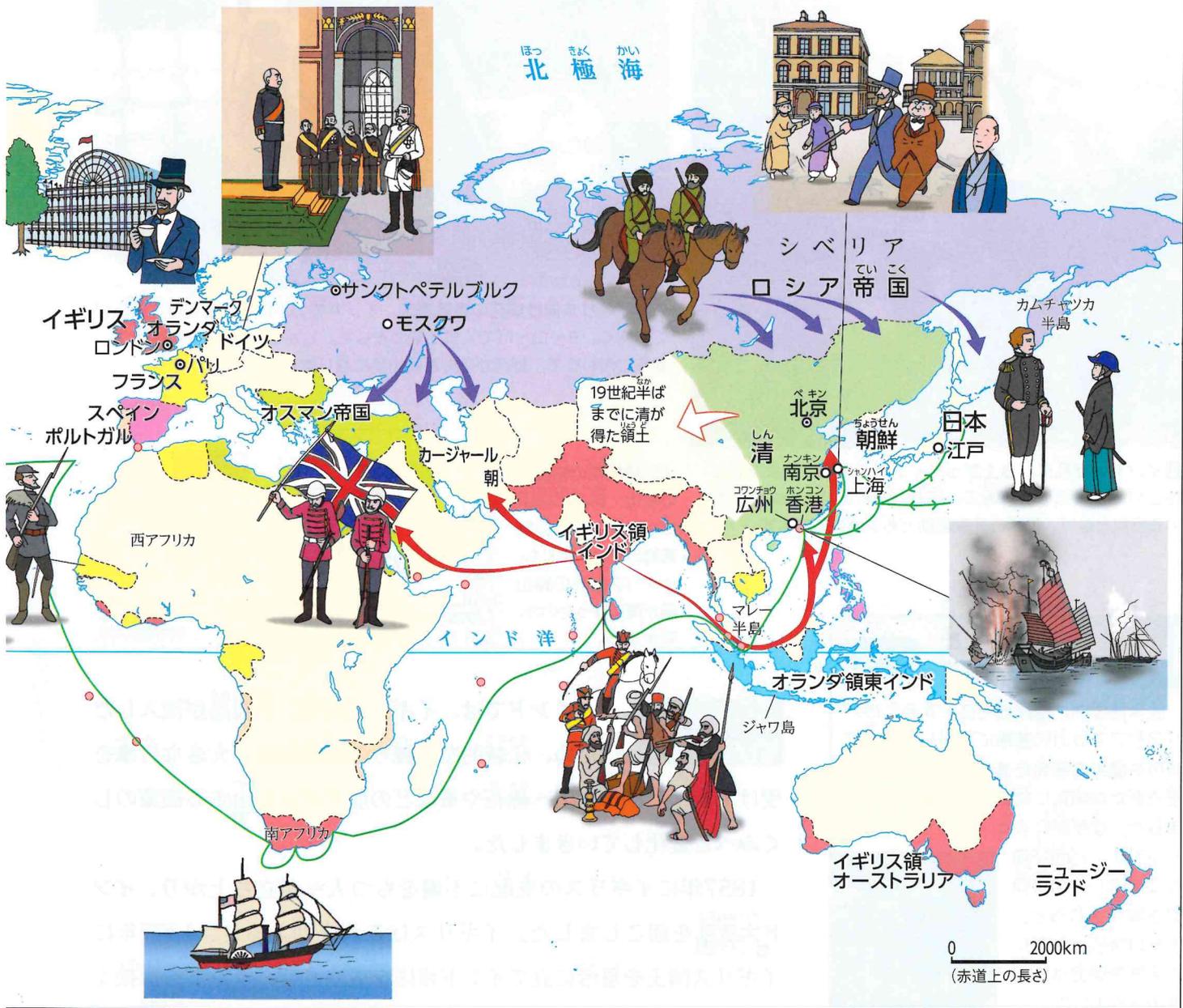
5 世界進出を目指す 欧米諸国

1節の問い 欧米諸国から始まった近代化とは、どのような変化なのだろうか。

なぜ、欧米諸国は世界各地に植民地を広げていったのだろうか。

欧米諸国の世界進出

19世紀に、イギリスは、工業製品を大量に生産し、世界中に輸出したので、「世界の工場」とよばれました。そして、安い原料の入手先と工業製品の販売先を求めて世界各地に進出し、最大の植民地をもつ帝国となりました。イギリスに続いて工業が発達した欧米諸国も、植民地を求めてアジアやアフリカ



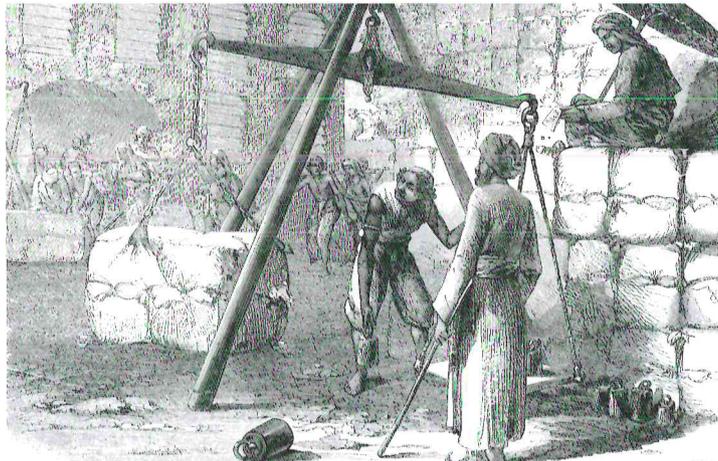
などに進出しました。欧米諸国の世界進出を可能にした条件は、もちろん強い経済力と軍事力でしたが、さらに輸送網と情報網の発達も要因となりました。具体的には、蒸気船と鉄道の発達によりヨーロッパ・アジア・アメリカ大陸間の移動時間が大幅に短くなったこと、海底電信ケーブルの開通により世界の情報を素早く手に入れられるようになったことが背景にありました。

① アジアでは、インドを拠点としてアジア進出を進めるイギリスと、北部から南下政策をとるロシアとの争いが激しくなりました。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土・桃山
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



↑2 インド大反乱に立ち上がったインドの人々 農民をはじめ地主や手工業者など、幅広い階層と宗教の枠を超えた民衆による反乱となり、最初の民族運動ともよばれています。



↑3 イギリス向け綿花の重量測定 インド製の手織りの綿布は、柔らかくて軽く、ヨーロッパで人気を集めました。しかし、欧米との貿易では、綿布に代わって、綿花が主要な輸出品になりました。

未来に向けて 植民地の拡大と 医薬品の開発 情報・技術

欧米諸国は、植民地を拡大するためアジアやアフリカの熱帯に進出し、現地で都市や農業の開発を進めました。その過程で新たな病気に対処する必要が生まれました。蚊が媒介するマラリアもそのひとつです。19世紀前半にマラリアの特効薬が開発されると、それ以降欧米諸国による熱帯開発は一層進められました。

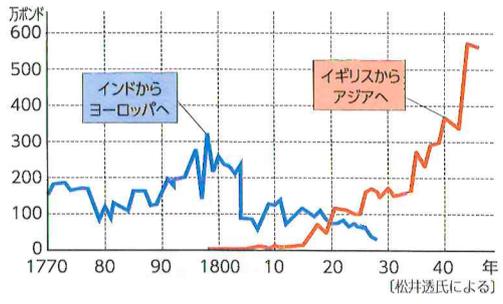


→5 マラリアの特効薬の原料となる植物

解説 モノカルチャー経済

一国の産業や輸出が特定の農産物や鉱産物などに大きく依存している経済のことです。工業製品と比べて、農産物や鉱産物の価格は、輸出入する側の都合で低く抑えられやすく、不安定にもなりやすいため、それに依存する経済は発展しづらくなります。

→4 綿織物の輸出額の変化 資料活用
なぜインドからの綿織物の輸出額よりも、イギリスからの輸出額が高くなったのか、考えよう。



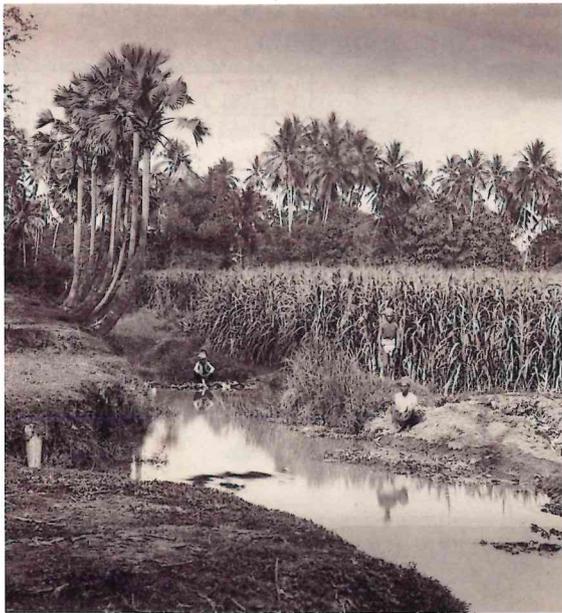
インド大反乱

インドでは、イギリスの安い綿製品が流入したため、伝統的な手織りの綿布産業が大きな打撃を受けて衰え、欧米諸国へ綿花や茶などの農産物を輸出する産業のしくみへと変化していきました。

1857年にイギリスの支配に不満をもつ人々が立ち上がり、インド大反乱を起こしました。イギリスはこれを抑えると、1877年にイギリス国王を皇帝に立てインド帝国を成立させ、インドを直接支配下に置きました。これによりイギリスは、植民地支配の拠点をインドに定め、アジアへの進出を加速させていきました。

不平等なしくみに組み込まれる アジア・アフリカ

欧米諸国は、自分たちに有利な経済の分業のしくみを世界規模でつくり出しました。欧米諸国は、自由貿易を掲げて、植民地となったアジア・アフリカの国々に自国の工業製品を輸出する一方で、主に欧米諸国向けとなる特定の農産物の栽培への集中(モノカルチャー)を強制し、植民地の経済と社会をつくり変えていきました。イギリスの植民地となったマレー半島でのゴムの生産や、オランダ



↑6 ジャワ島のさとうきびプランテーション(1875年) プランテーション(大農園)では、輸出向けの特定の農産物が生産されました。ジャワ島では、さとうきびは水田をつぶして栽培されたため、米の生産が減少し、農民の自給自足の生活は崩れました。

歴史プラス+ 世界探検の時代の始まり

18世紀前半、ロシアによる計画の下、デンマーク人航海者ベーリングらによって、カムチャツカからアラスカに向けた探検と、カムチャツカ半島を基地とするアリューシャン列島や日本に向けた探検が盛んに行われました。これにより、北太平洋海域の地勢と、ここに生息するラッコの毛皮が貴重な貿易品になることが知られると、ロシアをはじめ欧米諸国は、積極的にこの海域に進出しました。18世紀末に日本に通商を求めてきたロシア船(→p.176)も、こうした毛皮貿易に関わる船でした。



↑7 交易品のもととなったラッコ ロシア使節が日本へ通商を求める前から、千島列島に先住していたアイヌ民族と松前藩との間では、列島に生息するラッコの毛皮が交易品として取り扱われていました(→p.89)。
←8 ベーリングの探検をもとにつくられた北太平洋海域の地図(1775年)

の植民地であったジャワ島での さとうきび の栽培がその代表的な例です。こうした欧米諸国を中心とした経済の分業のしくみは、植民地の伝統的な産業を衰えさせ、富を奪いとしてゆく不平等なものでした。これによって、アジアやアフリカの国々は、長い間、自国の経済や産業を発展させられない状態となりました。これは、現在まで続く経済格差(南北問題)につながっています。

また、欧米諸国のアジア進出は、やがて江戸時代の日本にも及び、ロシア船などをはじめとして、幕府が許可した国々以外の外国船が、日本の周囲にも姿を現すようになりました。

植民地支配と民族意識の芽生え

イギリスによるインドの統治を例にみると、

植民地を統治する現地の政府は、英語を公用語にするとともに、近代的な行政や司法のしくみを整えました。そして、役人や弁護士などの職に、イギリス式の教育を受けた優秀な現地人を採用しました。こうした現地のエリート層は、最初は本国による植民地支配を支える立場にありました。しかし、しだいに彼らのなかに民族意識が芽生え、イギリスによる植民地支配に抵抗していこうという動きが広がっていきました。

未来に向けて 世界各地に広がる 人権・多文化 人権思想・民族意識

この時代は、ヨーロッパが各地に進出する一方、ヨーロッパで生まれた人権思想や民族意識が世界に広がってゆく時代でもありました。例えばインドのガンディー(→p.235)は、イギリスに留学後、渡航先の南アフリカでひどい差別に遭遇し、出稼ぎに来ていた多くのインド人の人権を守るための活動を始めました。このような活動は、宗教も民族もばらばらであった人々の連帯感を促す役割を果たしました。

確認しよう

このころに欧米諸国の植民地となった国や地域を、本文から三つ以上書き出そう。

説明しよう

欧米諸国がつくった経済のしくみは、アジア・アフリカにどのような影響を与えたのか、説明しよう。

1	縄文
2	弥生
3	
4	古墳
5	
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・桃山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和